

## 平成 2 3 年度 予算の あらまし

平成 2 3 年度那珂川町一般会計予算は、8,000,000 千円となり、前年度予算に対し、500,000 千円の増（6.7%増）となった。街なみ環境整備事業の完了や、地方道路交付金事業費、国民健康保険特別会計繰出金、公債費等が減額したものの、こども手当支給事業費や福祉施設整備事業費、林業・木材産業構造改革事業費、消防庁舎整備事業費や病院費などの広域行政事務組合への負担金が増加したために、前年度に対し増額となった。

特別会計は、ケーブルテレビ事業、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、下水道事業、農業集落排水事業及び簡易水道事業の 7 会計であり、これら特別会計の予算総額は、4,429,000 千円となり、前年度予算に対し、131,000 千円の増（3.0%増）となった。なお、老人保健が後期高齢者医療制度への移行により平成 22 年度をもって特別会計を廃止した。

ケーブルテレビ事業特別会計予算は、370,000 千円で、施設管理費が主なものであるが、番組制作部門の一部を業務委託することとした。また、高度化事業の公債費償還が増額したため、前年度予算に対し、55,000 千円の増（17.5%増）となった。

国民健康保険特別会計予算は、2,053,000 千円で、保険給付費、後期高齢者支援金等が増額となったことから、前年度予算に対し、10,000 千円の増（0.5%増）となった。

後期高齢者医療特別会計予算は、173,000 千円で、後期高齢者医療広域連合への納付金が主なもので、前年度予算に対し 19,000 千円の減（9.9%減）となった。

介護保険特別会計予算は、1,290,000 千円で、保険給付費が増額となったことから、前年度予算に対し、80,000 千円の増（6.6%増）となった。

下水道事業特別会計予算は、321,000 千円で、処理施設の維持管理費のほか、馬頭地区の管渠工事を実施するもので、前年度予算に対し、14,000 千円の減（4.2%減）となった。

農業集落排水事業特別会計予算は、46,000 千円で、処理施設の維持管理費が主なもので、前年度予算に対し、1,000 千円の増（2.2%増）となった。

簡易水道事業特別会計予算は、176,000 千円で、水源さく井工事費、配水管布設替工事費、維持管理費など、前年度予算に対し、19,000 千円の増（12.1%増）となった。

水道事業会計予算は、448,760 千円で、配水管布設替工事費、水源確保事業費等を見込み、前年度予算に対し、107,650 千円の増（31.6%増）となった。

これにより、一般会計及び各特別会計並びに企業会計の予算総額は、12,877,760 千円となり、前年度予算と比較して、738,650 千円の増（6.1%増）となった。

一般会計における歳入の財源内訳、歳出の性質別内訳は、次のとおりとなった。

●歳入内訳

区 分	予 算 額	構 成 比	対前年度比
自 主 財 源	2,914,427千円	36.4%	1.6%増
依 存 財 源	5,085,573千円	63.6%	9.8%増

●歳出内訳

区 分	予 算 額	構 成 比	対前年度比
投 資 的 経 費	654,849千円	8.2%	103.6%増
消 費 的 経 費	5,065,208千円	63.3%	3.9%増
そ の 他 の 経 費	2,279,943千円	28.5%	1.1%減

歳入の構造は、自主財源において、町税をはじめ減少傾向にあり、財政調整基金、地域振興基金等の基金繰入金を充て、2,914,427千円（対前年度比：46,129千円増、1.6%増）となった。自主財源の確保については、町税において、より一層の課税客体的確な把握に努めるとともに、徴収事務を積極的に推進することとした。依存財源については、地方交付税は前年度同額を計上し、町債は、充当事業の厳選に努めるとともに、将来の財政負担に支障がないような過疎対策事業債や合併特例債などの有利なものを活用することとした。また、財源補てんに充当する臨時財政対策債については、国の平成23年度地方財政計画による前年度比20%減を受けて、100,000千円を減額計上した。この結果、依存財源は、5,085,573千円（対前年度比：453,871千円増、9.8%増）となった。

歳出については、行財政改革の本旨を念頭に、一般行政経費の一層の節減に努め、財政の健全化の確保に配慮しつつ、総合振興計画の具現化に向けて事業を導入することとし、魅力ある地域社会の形成を進めるため、多様化する各種事務事業の対応を図ることとした。また、各事業において景気・雇用対策に配慮しながら地域振興に重点を置き予算措置をした。